

# さくら便り

Sakura Letters Vol.24

Sakura Hiroko

発行責任者：櫻 裕子 住所：盛岡市高松3丁目2-30

「さくら便り」は政務活動費で作成しております。

いつもご支援いただき誠にありがとうございます。今年はコロナ禍で行事などの中止が相次ぎ、市民の皆さんにお会いする機会も減っており、とても残念でなりません。なかなか収束の見通しが見えない状況ではありますが、基本的な感染防止策を徹底しながら通常の生活を維持し、市民一丸となって乗り越えて行きたいものです。

新しい市政報告書「さくら便り」を作成いたしました。ご覧いただければ幸いです。

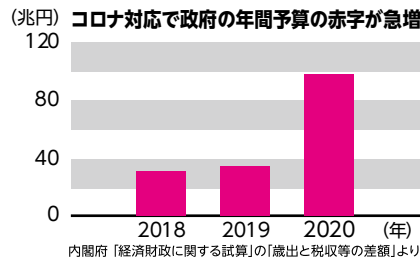
## 緊急経済対策も結局は 大きなツケとなって私たちの生活にのしかかる?!

新型コロナウイルス対策として、今年度に入ってから緊急経済対策費と銘打った国の臨時交付金が数回にわたり追加補正されています。(盛岡市の活用状況は右記の通り)

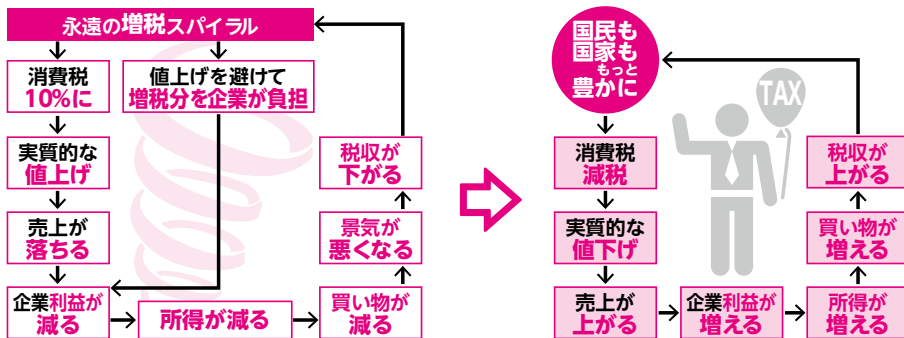
しかし、緊急経済対策という大盤振る舞いは、将来の増税を意味します。

国は「新しい生活様式」を掲げていますが、これは経済活動への著しい妨げとなっており、コロナに対する過剰対応が「働きたくても働けない」状況を作り出しています。

このまま従って行けば、様々な業界は壊滅状態に陥り、さらに立ち行かなくなるのが目に見えています。これは早急に見直すべきであり、徹底した感染防止策を施しながら同時に「減税」によって地域経済をしっかりと回す社会の構築を目指すことが重要と考えます。



## 『自助の精神』を失わせるコロナの過剰対応をやめ、減税によって努力が報われる社会へ



## コロナ臨時交付金 盛岡市のこれまでの活用状況(抜粋)

(単位：千円)

項目	予算額	うち地方創生臨時交付金
プレミアム付商品券発行事業	529,800	529,800
プレミアム付きで応援事業(モリオ☆メール)事業	159,890	159,890
地域企業家賃補助事業	579,600	132,506
事業主雇用継続支援金	60,160	60,160
大学生等有償インターンシップ事業補助金	21,512	21,512
もりおか事業継続支援金給付事業	433,047	433,047
新型コロナウイルス感染症関連中小企業融資に係る利子・保証料補給(3年度以降文庫基金積立)	430,231	430,231
観光基盤維持支援金(宿泊業、観光バス等)	39,550	39,550
★盛岡の宿泊援割事業(冬季)	244,300	121,000
ひとり親世帯等特別給付金支給事業	81,542	81,542
芸術文化活動振興事業	15,000	15,000
★コロナウイルス感染症対策用品購入(加湿器)	28,787	28,787
感染防止衣購入	11,000	11,000
総額	3,391,645	2,570,251

### ★市内宿泊施設利用者の宿泊料の割引補助(「盛岡の宿応援割(秋・冬)」)

【概要】県民を対象として冬季間に実施予定の「盛岡の宿応援割」について、実施時期の前倒しと期間延長、さらに東北5県と新潟県民に利用対象者を拡大して、11月から事業を実施するもの。

【補助額】1泊1人あたり、4千円

【時期】令和2年11月1日から令和3年3月7日まで(予定)

### ★学校管理用備品購入

【概要】市立小中学校における感染症拡大防止対策事業として、普通教室および特別教室への加湿器を整備するもの。



### ※Point※

私が一期目の時から一般質問等で要求してきている加湿器整備。以前は各学級で濡れたタオルを教室に掛けて湿度を上げているといった状況で、インフルエンザ等の感染防止が整っているとはとても言えなかった教室環境もだいぶ改善され、今では市内の小中学校すべての普通教室に加湿器が置かれております。今回のコロナ禍で改めて加湿器の有用性が認められ、特別教室にまで配置されることになることは、実に嬉しい限りです。

## 医療的ケア児 —盛岡市の課題—

### 医療的ケア児とは

生活する中で”医療的ケア”を必要とする子どものことを、「医療的ケア児」と呼んでいます。近年の新生児医療の発達により、都市部を中心にNICU(新生児集中治療室)が増設された結果、超未熟児や先天的な疾病を持つ子どもなど、以前なら出産直後に亡くなっていたケースであっても助かることが多くなってきました。その結果、医療的ケアを必要とする子どもの数は増加傾向にあります。

- 岩手県には195名の医療的ケア児(18歳以下)がいる。盛岡市は45名。
- 未就学児(0歳～5歳)は88名
- 保育園に通っているのはわずか3名。8割程度のお子さんは在宅で暮らしている。(令和2年10月現在の状況)



過日、岩手県重症心身障がい児(者)を守る会さんが、また盛岡市在住の医療的ケア児の親御さんたちが相次いで「医療的ケア児(者)に係る福祉の充実に関する要望書」を市に提出し、いずれも立ち会う機会をいただきました。主な要望は下記の通りです。

#### ※医療的ケア児の居場所の確保および環境整備

- 医療的ケア児(者)が、医療・教育・福祉に関わる相談ができる市のセンター的役割を担う場所やコーディネーターの配置
- 医療的ケア児(者)が、希望する学校・支援学級への看護師の配置
- 医療的ケア児(者)の通学・移動支援の充実

#### ※生まれてから医師、保健師、相談支援専門員、学校との切れ目のない支援体制の構築

- 医療的ケア児の誰もかまれることのないよう、現状把握体制の構築による支援
- 巡回相談事業の拡充

#### ※障がい児家族支援の実現

- 市のホームページで見やすく分かりやすい情報提供を
- 子供向けの療育サポートブックの作成 など

息子が生まれつき病気があり、一時医療的ケアが必要でした。  
健常児の娘を出産した時と違い、子育て環境が整ってなくて愕然としました。  
どんな子どもが産まれても、地域で安心して子育てしていける環境が盛岡市に実現することを願っています。



岩手県トレンスヘルスケア連絡会議  
運営委員 小笠原綾子さん

## 高松の池 芝水園のヨシ原の保全について

盛岡市民の憩いの場であり、多くの市民が自然観察や散策に訪れる高松公園。近年、旧競馬場跡地の公園整備等が進み、周辺の環境が著しく変化しています。とりわけ、公園内にあるヨシ原は、流水量の減少等に加え、長年にわたり人の手が入らず保護されたことにより枯れたヨシが堆積し土壌化していることから、このままでは陸地化に歯止めがかからずこのヨシ原は消滅してしまう恐れが懸念されます。また、陸地化により規制外来種であるオオハングソウやオオアワダチソウの侵入も拡大しています。このヨシ原は、多くの野鳥がねぐらや渡りの中継地及び繁殖地として利用していることや、多種多様な種の生命がはぐくまれること等、生物多様性は豊かであり、当市の貴重な資源です。都市公園内にあるヨシ原として永く次世代に引き継ぐ保全が求められます。

今年の10月に日本野鳥の会もりおかの皆さんがこの問題に警鐘を鳴らし、早期の現地調査と保全を求め、市に要望書を提出されました。

◀規制外来種オオアワダチソウの群落が広がり  
地面が乾燥化している



さかのぼること明治の頃より市民のオアシスとして愛され、多くの方々に守り育てられてきた高松公園。長い歴史の中で紡がれてきた財産を次世代にしっかりと残していかなければなりません。今後しっかりと注視していきたいと思っております。

桜ひろ子  
事務所

TEL・FAX 019-663-0877  
E-mail info@sakura-hiroko.com  
URL http://sakura-hiroko.com/



市政への要望・地域課題  
(道路の穴ぼこ、除雪の不満など)  
皆様の声をドンドン  
お寄せ下さい!

桜ひろ子  
Facebookで  
最新情報公開中